

Educational goals & Policy / 教育目標・ポリシー



清泉大学 人間学部・人文社会科学部・看護学部

●建学の精神

キリスト教（カトリック）ヒューマンイズム（に基づく福音的全人教育）

●建学の理念

こころを育て、奉仕と愛によって世界の変容のために献身する人々の養成（教養を重視し、他者のために考え、行動し、地域と世界の文化と福祉の向上に資する情操豊かな人間の育成を目指す教育）

●ミッション

本学の使命は、真の平和と社会正義のもとで、すべての人、ひとりひとりがケアされる、環境的、社会的、文化的エコロジーに配慮がなされた共生的社会の実現にある。その使命を果たすために、キリスト教（カトリック）ヒューマンイズムに基づく全人教育と自己研鑽を通じて得た知識と力を、他者のために役立たせ、地域と世界の文化と福祉の向上に貢献する人々を育成し、その生涯にわたる質の高い学びの場を提供していくことを目指す。

▶ 教育研究上の目的	▶ ディプロマポリシー	▶ カリキュラムポリシー
▶ アドミッションポリシー	▶ アセスメントポリシー	▶ 学生支援の基本方針

清泉大学 短期大学部

●建学の精神と教育研究上の目的

清泉大学短期大学部の持つ理念は、学則第1章第1条の以下の条文にまとめられています。

1. 本学は、教育基本法に則り学校教育法の定めるところに従い、カトリック精神に基づいて大学教育を行い、深い知的、道徳的見識と教養を養い社会の文化向上と福祉のために貢献しうる円満な人格と情操豊かな女性を育成することを目的とする。
2. こども学科は豊かな人間性と専門性をもつ保育者を養成することを目的とする。※2025学則上は「こども学科」とする。幼児教育科については従前の例とする。
3. 国際コミュニケーション科は国際的視野と豊かなコミュニケーション力をもつ人間を育成することを目的とする。

清泉大学短期大学部は、上記の理念に基づき教育活動を行っています。

▶ 基本方針	▶ 教育目標	▶ ディプロマポリシー
▶ カリキュラムポリシー	▶ アドミッションポリシー	▶ アセスメントポリシー
▶ 学生支援の基本方針		

基本方針

短期大学部

●こども学科

短期大学部こども学科では、キリスト教（カトリック）の精神に基づく全人教育を教育理念として、以下のような保育者を養成することを教育の基本方針とする。

- ① 他者への共感を大切に、人を愛し人につくす保育者。
- ② 子ども・保育の社会的課題を自覚し、地域社会の子どもの育ちと子育てを支援する保育者。
- ③ 自ら学び自ら考え、互いの立場を尊重し他者と協働する保育者。

教育目標

短期大学部

●こども学科

短期大学部こども学科では、「教育の基本方針」に掲げた保育者を養成することを目指して、以下を教育目標とする。

- ① 人を愛し人につくす保育者となるために、地域社会に貢献する活動や様々な他者とながら活動等を重視し、愛し合い助け合う態度と意欲を培う。
- ② 子ども・保育の社会的課題を自覚し、子どもの育ちと子育てを支援する保育者となるために、現代を生きるに必要な教養の学修と、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格等の取得のための専門的学修を通じて、保育専門職の基本的かつ実践的な態度・知識・技術を培う。
- ③ 自ら学び自ら考え、互いの立場を尊重し他者と協働する保育者となるために、主体的・体験的・協働的な学修を通じて、自己学習の能力と他者との協調性や協働性を培う。

ディプロマポリシー 卒業認定・学位授与の方針

短期大学部

●こども学科

1. 本学の保育者養成教育の全体を通じて、今日の保育者に求められる倫理観、他者への受容と愛し合い助け合う態度を修得している。
2. 教養教育及び幼稚園教諭二種免許状や保育士資格等の専門的学修を通じて、今日の子どもの育ちや保育に求められる基礎的教養及び保育の専門的知識と技能を修得している。
3. 特色ある教育課程を通じて、自ら考え行動する力や、保育に必要な思考力・表現力・感性の基礎、他者と協働する資質能力を修得している。

カリキュラムポリシー 教育課程の編成や実施の方針

短期大学部

●こども学科

1. 教養教育科目は、「建学の精神」科目を中心に、現代社会に必要な教養、社会貢献・国際交流活動等を通じて「ここを育てる」目的から編成する。
2. 専門教育科目は、幼稚園教諭二種免許状や保育士資格の取得と、子どもの育ちに関連した特色ある諸資格の取得、子ども・保育に関する学際的教養を目指して編成する。
3. 特色ある教育課程として、保育者に必要な体験力や人間関係力、学びの基礎力を修得する特別プログラムを展開するとともに、長期履修学生制度を活用した「3年コース」を特設して柔軟な学びを確保する。
4. 特色ある教育課程として、自ら考え行動する力や保育に必要な表現力・創造力・感性の基礎を修得できるよう、学外実習、アクティブラーニング、保育演習施設を活用した授業やこども研究セミナー等を充実する。
5. 他者への受容と愛し合い助け合う態度、他者と協働する資質能力の基礎を学ぶために、様々な学科行事や課外活動、社会貢献活動等の機会を充実する。

アドミッションポリシー 入学者受入れの方針

短期大学部

●こども学科

こども学科では、次のような学生を求める。

1. 自ら目標とする保育者に向けて強い意志と志望を抱き、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格等の取得を目指し努力する学生。
2. 保育の現場で求められる自ら考え行動する力や、表現力や創造力、感性を磨こうと自ら努力する学生。
3. 他者への受容と協働のために、積極的に地域貢献活動に参加し、他者とかわらうとする学生。
4. 子どもや保育を取り巻く社会問題や地域課題に広く関心を持ち、子育て支援や保護者支援に取組もうとする学生。

アセスメントポリシー 学習成果の指標

短期大学部

学修成果を可視化し、教育の改革・改善を恒常的に実施することを目的として、短期大学部こども学科の3つのポリシーに基づく学修成果を適切に評価するため、アセスメントポリシーを定める。
 アセスメントポリシーは、学生の入学時から卒業時までを視野に入れ、機関（短期大学部）及び学科（教育課程）レベル、科目レベルの2つの区分ごとに、以下のような基本方針のもと、主要な評価指標（別記参照）を設定し、総合的かつ多面的に検証と評価を行う。

- (1) 機関（短期大学部）及び学科（教育課程）のアセスメント・ポリシー
 短期大学部及びこども学科全体の学修成果は、別記に示した評価指標に基づき検証・評価する。全体的な傾向と推移を検証・評価し、教育研究体制や学生支援体制、FD活動等の改善の改善に活用する。
- (2) 科目ごとのアセスメント・ポリシー
 各科目の学修成果は、シラバスにおける「学修到達目標」に示した当該科目が担う学修成果について、学生授業評価の結果を中心に学外実習の状況や各資格取得の結果等を踏まえながら検証・評価する。また、シラバスにおける成績評価の基準の適切性を検証・評価し、各科目の授業改善に活用する。

機関（短期大学全体）レベル及び学科（教育課程）レベルの主な評価指標は以下の通り。

- (1) アドミッション・ポリシーの検証と評価
 - ① 入学試験の実施状況
 - ② 入学時の広報部学生アンケート
- (2) カリキュラム・ポリシーの検証と評価
 - ① 各セメスターの単位修得状況及びGPAの傾向
 - ② 退学・休学・留年の状況（各学年）
 - ③ 学生生活満足度調査（1年次終了時及び卒業時）
 - ④ 学生授業評価の結果
 - ⑤ 教育の実施状況や各種のアンケート結果
 - ⑥ 「学修成果」に対応した独自指標による達成状況
- (3) ディプロマ・ポリシーの検証と評価
 - ① 最終の単位修得状況及びGPAの傾向
 - ② 学位授与数、卒業率
 - ③ 就職率、進学率
 - ④ 免許・資格等の取得率
 - ⑤ 卒業後調査等の結果

機関（短期大学全体）レベル及び学科（教育課程）レベルの主な評価指標は以下の通り。

- (1) 6つの「学修成果」
 こども学科では、以下の6つの学修成果を定める。このうち、Iは在学中の保育者養成全般を通じて獲得されるものであり、II～VIはこども学科の保育者養成教育を通じて育ち・培う資質や力量を定める。
 - I 幼稚園教諭二種免許状や保育士資格、また、希望するこども学科の諸資格を取得し、保育専門職にたずさわる。
 - II 建学の精神に基づく人間教育（「ここを育てる」）とこども学科の専門教育を通じて、現代の子どもの発達・学び・生活の姿と課題を理解し、保育と子育て支援を担うために必要な基礎的教養と倫理観、及び保育の専門的知識と技能を修得している。
 - III 各種実習やこども学科の専門教育を通じて、多様な保育実践の場で必要とされる実践力や課題発見・解決能力、思考力の基礎を修得している。
 - IV 各種実習やこども学科の専門教育と学科の諸行事等を通じて、保育実践の場で必要とされる豊かな表現力や創造力、発想力の基礎を修得している。
 - V 保育の専門教育科目や学科の諸行事等を通じて、保育実践の場で必要とされる主体性や自己学習能力の基礎を修得している。
 - VI 本学の人間教育や学科の諸行事・特別プログラム、地域貢献活動等を通じて、保育者に求められる基本的な体験や人間関係力の基礎、および他者を受容し他者と協働する力の基礎を修得している。
- (2) 学修成果IIの「基礎的教養と倫理観、保育の専門的知識と技能」の要素
 上記の学修成果のうち、IIの「学修成果」は、次の6つの要素から構成される。
 - a 保育の基礎的教養（現代的教養・倫理観）の修得
 - b 現代の子どもの発達・学び・生活の現状と課題の理解
 - c 保育・幼児教育、福祉の原理・目的の理解
 - d 保育及び子育て支援の対象の理解
 - e 保育内容や保育方法、具体的援助の方法の理解
 - f 保育に関する基礎的技術の獲得
 - g 上記のb～fに基づく保育実践力の基礎の獲得

学生支援の基本方針

短期大学部

●こども学科

- ① 学生一人一人が存在感を感じ、心身ともに健康に生活できるよう、専任教員や学生支援部職員と信頼関係を築き、また、保健室・学生相談の充実などを通じて安心できる学園生活となるよう支援する。
- ② 様々な学科の行事や学生会活動やサークル活動、社会貢献活動等を通じて、学生の自主性や主体性を伸ばし、他者への共感や協働の重要性を学ぶ機会を提供する。
- ③ 保育専門職への適切なキャリア形成を促し、就職・進学など卒業後の進路希望が実現するよう、キャリア・ガイダンス